

事務事業 No./名 称	■サービス部門 まち-06 交通体系整備事業 □支 援 部 門									
主管課	交通計画課					関連課				
分野名	総合交通									
目標 (目標値)	古都鎌倉の歴史的環境の保全を活かしつつ、交通体系の改善に向けた取組を推進する。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数									
運営資源 状 況	決算値(千円)	8,399	10,395	16,751						
	(国・県)			8,333						
	(負担金等)									
	(一般財源)	8,399	10,395	8,418						
	人員配置数	2.5	2.6	2.6						
	人 件 費(千円)	19,731	22,156	22,223						
	協 働 の パートナ	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者	交通事業者 交通管理者						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	28,130	32,551	38,974						
	市民1人当 りの経費(円)	159	184	220						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
鎌倉地域の慢性的な交通渋滞の 緩和に向けた取組	○	目標値	—	—	交通計画検討委員会の 開催	交通計画検討委員会 の開催・市民アンケー トの実施	交通計画検討委員会 の開催・交通需要マネ ジメント施策の実施			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	—	—	シンポジウム及び ワークショップの開催	交通計画検討委員会 の開催・市民アンケー ト等の実施				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒	方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止					
交通体系整備事業	8,399千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	鎌倉地域の慢性的な交通渋滞の解消に向けて、鎌倉市交通計画検討委員会及び同専門部会を開催。 北鎌倉駅のバリアフリー化に向け、駅周辺の自治町内会や商店会・学校関係者、JR東日本、鎌倉市で協議を重ねて、JR東日本から提示された詳細設計が了承され、平成24年度から階段やスロープの設置工事が着手された。											
		①効率性		②妥当性		③有効性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性		②妥当性		③有効性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性		②妥当性		③有効性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性		②妥当性		③有効性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要												

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	現在の鎌倉地域地区交通計画において提言されている様々な交通需要マネジメント施策の中には、実施困難な施策や実施までに長期間を要する施策があることから、施策の本格実施を目指した社会実験の検討を行う鎌倉市交通計画検討委員会を開催する必要がある。北鎌倉駅のバリアフリー化に向け、平成24年度前期に北鎌倉駅バリアフリー工事の詳細設計を完成させ、平成24年度後期には工事着手を目指す。		
課題解決のための取組	鎌倉地域の交通渋滞の解消に向けて、市民、商工業者、交通事業者及び学識経験者で構成する鎌倉市交通計画検討委員会を平成24年5月に設置し、委員会を3回、下部組織である専門部会を6回開催した。鎌倉地域の交通環境に対する市民意識の傾向を把握するため、市民アンケートを実施した。自動車利用者特性を把握し、今後の交通政策の検討に資する基礎資料とするため、市役所及びパークアンドライド駐車場利用者アンケートを実施した。北鎌倉駅のバリアフリー化は、工事の詳細設計が了承され、平成24年度に多機能トイレや階段の設置工事が着手され、エレベーター設置工事は平成25年度に行われる予定となっている。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題			

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		鎌倉地域地区交通計画の見直しに向けて、引き続き、鎌倉市交通計画検討委員会を開催し、交通需要マネジメント施策の検討を行い、社会実験を重ねながら効果や課題を検証して、交通渋滞解消に向け取り組んでいく。北鎌倉駅のバリアフリー化については、平成25年度にエレベーター設置工事が予定されており、鎌倉市も事業支援のため、補助金執行を行う。	課長等名
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			
				↓ A	交通計画課長 宮崎 隆

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
交通体系整備事業	1030	交通計画検討委員会委員報酬	1,476	522	○	○	○	○
	1030	交通政策専門員謝礼	102	0	○	○	○	○
	1030	鎌倉地域地区交通計画支援業務委託	8,000	7,875	○	○	○	○
	1030	(仮)交通需要管理検討委員会業務委託	5,000	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							